京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

雜報

●現今政界の七傑(上)

政界の事情に精通せる某貴族院議員現時政界を評論品隲して談偶々政界人物論に及んで曰く凡そ政治家として宰相の印綬を帶び國政料理の任に膺るには財政、外交、軍事の三つの智識を具備せざる可からず而して現在我日本に於て總理大臣たるを得べき大政治家を物色し來れば伊藤公、桂侯、西園寺侯、大隈伯、伊東子、山本伯、寺内子の七人を獲べし今此等七人者の一長一短を比較評論せんに

▲伊藤公 は云ふまでもなく維新の元勳にして常に順潮に乗じて今日の位地を作れるもの兎も角我國政治家中の第一位に推さざる可からず然れども公は其の出身上外交的智識の著しく發達して當世政治家中比儔を見ざるは事實なるも軍事上に至りては全然沒交渉たるを免れざると同時に財政上の智識に就ても亦遺憾なきを得ず是れ公の地位聲望を以てして毎時の内閣組織も其終りを能くせざる所以か、莫逆公の養ひたる勢力は依然隆々たるものにして旗下に屬するの士亦多士濟々たれば何時にても内閣の首班として起つの餘勢尚は存するを見る

▲桂侯 に至つては軍事は其出所たるが故に手のものにて財政外交上の智識亦乏しからず其技倆蓋し拔群とは許し難かる可きも比較的各方面に於て完備せる資格を有せり殊に政治家の立場としては最大逆境のドン底まで陷りて而して其利鈍を試むるは其手腕を認識せらるゝ點に於て必要なる經驗なるに侯は彼のポーツマス條約の際殆んど全國民の反抗を購ひ輿望全く地に墜ちて再び起つ能はざるの大逆境に陷りたるに拘らず僅々二年有半にして捲土重來遂に今日の地位を贏ち得たるは確かに非凡の才能の然らしむる所と推服せざるを得ず蓋し侯の最大逆境に沈淪したる際逆境に處して精神的修養を積みたる點多大なる可きを信ず

▲西園寺侯 に至りては既に自ら内閣を組織したる經驗もあり且つ德望、貫目共に備はり居るも惜むらくは政治家たるの要素たる粘着力に乏しく彼の政友會に對する態度の如きも殆んど路傍の人に對すると大差なく何時にても意に充たざれば棄てゝ顧りみざるの風あり是れ個人としては恬淡公正稀に見るの人格たる可きも政治家としての資格は疑ひなきを得ず

●最近釜山の商況

▲洋金巾 原産地高價の報に接し一般に賣惜みの姿なり今後極冬の賣行を想像すれば或は品拂底を告ぐるも知る可らず

▲和金巾 逐年韓人需用大に增加益好調なるも昨冬來一般不人氣一時荷閊へ勝ちなりしも見切格安の爲め僅に販路の命脈を繫ぎ來りしが昨今頃に形勢一變遂に品切の盛況となり頗る好景氣なり

▲紡績糸 例年に比しては賣行鈍きが如し要するに本年の糸價は太だ高價の爲め織布の現價に對して織工手賃拂からんとするに依る結果の如し故に綿糸賣行の回復は織布一般上向の後ならんと思はる

▲石油 時季柄一般需要增加各地より註文續出荷動き頗る活潑價格は今の處暫く變動なき如きも品手薄を氣構ゆる者あり

▲精糖 秋果の季節は例年賣行鈍きが近年日本糖は上海方面へ輸出多く一面從來香港糖は其劣等品が神戸上等品と殆んど同一價位に在り從て内地より輸入の杜絶せると尚は本國原料糖の昂騰の爲め市價不相變強氣なり

▲米利 [illegible]相場は特[illegible]合の姿なる[illegible]假令新入荷あるも依然下向の心配なからん

●保税倉庫の近況

南大門關税出張所取扱荷物は先月來俄に増加し昨今は日々六十噸を超ゆるに至れり昨年當期に比しても尚ほ増加の趨勢なるが這は不景氣昨年より甚しき今日に在りて不思議なる如きも畢竟在留民の増加其原因ならん故に取扱貨物も綿ネル、夜具、脊類、砂糖等主なるものにて殊に逐年化粧品の著しき増加は以て其奢侈風潮の高まれるを證するに足らん

保税倉庫利用は依然周知せられず民間設立の漢城共同倉庫(目下擴張倉庫增設中)は天一銀行附屬倉庫及百三十銀行扱の三倉庫は灼當の取扱貨物あるも保税倉庫の如きは防火其他の設備周到なるに係らず之を利用する者少きは保倉は金融上手數を要する爲め融通の敏活を缺くの嫌あるもの其大原因ならんと

●最近全國の賊狀

全國賊勢は益減退漸次靜穩に赴きつゝあり其徴の最も顯著なるは全南地方とす京畿北部に於ける鄭客太姜基東等の徒少數徘徊せるは依然たり黃海南部瓮津附近は小賊稍徘徊江原北部は賊魁金德石の咸南安邊に逃走後平穩なりしが近來出顯稍不穩なり慶北奉化順興地方の賊勢は搜討頻繁なる爲め著しく減退し賊魁金相泰は一時部下を散せしめ近時有力なる集群頗る減せり忠北丹陽淸風地方は尚は小賊の出沒あるも從前に比し大に減じ其他咸南の平安に接せる地方に小賊ある外概ね平穩なり

●八月中憲兵の賊討數

最近の調査に依れば八月中憲兵の賊徒と衝突せる回數三十二回出會數賊五百十九我兵員百七十八消費彈藥二千四百四十五賊死五十三傷四十一逮捕八鹵獲雜銃六十五にして衝突せざるも賊の出沒を知り憲兵の出動せしは回數三百九十四回賊數五千四百六十名なりと

狭西八郎

第九席

伯山改 神田松鯉口演

遙か彼方に鶴が飛んで居ましたが、やがて細き谷川の上に生へて居る松の枝に止まつた、スルと鶴の足に何か牌の樣なものが下がつて居ますして、其の牌が松の枝に掛かり飛ばんとすれども飛ぶこと叶はず、只管羽ばたきまして悶へ苦しんで居る氣色であります、爲「紀平治、アレ見よ、鳥の足に糸など着いて居るその紐のはしが枝にまつはりて飛得ざるものと見へる 紀「左樣でござるな、某礫を以て打落して御覽に入れませう 爲「アイヤ、礫を以て打つ時は、彼の鳥の命は忽ち終らであらうから イデ我れが傷の付かぬやう、射取つて重季等の爲めに放生會をして見せやう……」と覗ひ濟まして、丁と射給へは鶴は忽ち枝諸共に深川へ落ちましたを紀平治は之を見て早くも稚を手繰り、藤蔓につらまつて、辛うじて溪底へ下り、彼の鶴を抱いて上へ登つて來た 紀「御覽候へ、彼の鶴羽は少しく損じ候らへ共飛去らんとすれば飛べぬ程のものにても候らはねど、漸て自ら飛ばんともせず、柔順に某に抱かれました、又金の細き鎖もて黄金の牌が結び付けてあり、君の弓勢強くして鎖切れ、牌は鶴の傍に落散り居りましたから拾ひ取つて參り候」と申す 爲「オヽ左樣でありつるか、どれ／＼其の牌を見せよ」と手に取上げて御覽になると「康平六年三月甲酉、源朝臣義家放焉」と彫付けてある、爲朝は打驚き給ひて 爲「コハ懐しきことである此鶴こそ我が什祖父義家公の放ち給ひしものである、昔し奥州前九年の戰に我が遠祖頼義公御父子、夥多の逆徒を退治し給ひ、後三年の戰には安倍貞任を討取り、敵の首は殘らず途中に埋められしかど耳を殺いで都へ上し、六條坊門の北なる西の院の邊に埋めて、上に一字の堂を建立し給ひしが、是れ今の耳納堂である、其頃義家朝臣も、彼の地にて亡者追福の爲め夥多の鶴に黄金の牌を付けて放し給ひしと聞き、此鶴も其のうちの一羽でありしと見ゆる、康平六年より今茲久壽元年に至るまで九十八年、時は今三月にして日も又今日は酉なるはイト奇なることである、此の鶴足に牌を着けられても愛しとも思はれず、されはこそ此の西海の果までも飛來りて天地に翔りて居りしが爲め、今此鶴の我が手に入りしものと見ねたり、アラ懐かしや嬉しやと、鶴の頭を撫で給へば紀平治も奇異の思をなし 紀「誠に不思議のことでござります、我が君、武運長久の瑞祥、御祝ひ申上げます」と、是れより紀平治は再び鶴を扛抱いて爲朝の館へ送りまゐらせやがて我が家に歸りました、爲朝は彼の鶴を深く勦りて館に養ひて手づから餌などを與られ、又は水などを與へ給ふにまだ幾日も經ざるに非常に健やかになり羽の損じた所なども盡く活復致しました、又彼の一匹の狼野と風云へるが日に々爲朝に懐きました、を振て縁端近う來り馴々しく致しまで何も山雄の死したるを思ひ出され野風に向つて山雄の死したることなど人に物言ふ如くに聞かせ給へは、野風は頭を垂れ涙を流して深く愁ふる如くであります、此の有樣を見給ふに付けても重季のこと愈々痛はしくなり、或日近所なる齋修寺と云へる寺にて僧に請ひて重季と山雄の爲めに追善の佛事を修行し給ひました、左れど爲朝は重季、山雄を喪ひてより心淋々として樂しみ給はず、過ぎ方行末のことなど思ひ續けられて、春の夜の短きも安々と眠ることも能はず、況して重季は我が乳母の子にして、幼少より馴染み親しみしものを、我が無謀なることよりして彼れを失なひしこと哀れなりしと、ウツラ／＼とし給ふ、然るに或夜のこと、爲朝は夜三更まで寢られずして讀書などして居られましたが、何時となく眠に就かれた、スルと何處より來りしか、一人の女子、白綾の袿に同じ色の袴を着けて、紅なる一枝の花を頭に插し、端然として枕頭に座つて居る、爲朝は不思議に思はれて、ガバと身を起して布團の上へと座はられた。

料理界の福音
味の素
「味の素」は調味料として、和洋料理には勿論、一般の家庭に是非缺くべからざるもので、旅行の時などに携帯せられたならば、如何なる邊鄙な土地でも、食物の不味を訴ふることはありません、その上鰹節や、昆布の様に色々加減する手數も入らず誰れでも克く即席に出來ます、食物を調理するには「味の素」の外にはありません。一瓶金四十五錢、他地方は別替小包にて送ります

韓國特約店
歐米雜貨 洋酒食料品 煙草類 金物器具
直輸入商
京城本町二丁目 三丁目
辻屋
本店 電話二四八番
支店 電話二六六番

卷煙草
衛生見布入
常磐木
京城 廣江商會

●祝開業三週年●
江湖御客樣方の御引立に預り日ましに繁榮に赴き誠に難有仕合に奉存候就きましては本年は恰も開業三週年に相當致候得者自祝の意を表する爲め當分の内左記之通り特別大勉强仕候間賑々敷御光來の程伏して奉待上候あら／＼可祝
會席一膳附
並等 壹圓
上等 壹圓半
特等 貳圓
但御酒は上記代金の内にて召上り次第
尚々十人以上の御宴會は御人數に應じ花代なしにて相應の藝妓をして御座敷を斡旋致させ申候
京城大和町三丁目
電話七三五
梅の家

マルソイド
京城永樂町 藤原支店 電壹八九番

廣告

せきの改良劑 呼吸器
丹平商會本店
丹平商會支店
賣捌ハ全國各藥店
世界一の かぜねつ良藥

京城明治町一丁目
醫學士 佐佐木四方志
佐佐木醫院
(電話八一二番)

キッコーウリ
韓國仁川
日本醬油株式會社

美術半衿帯上帯締其他紐類各種 京城明治町一丁目 丸ゑり徳商店

官紀振粛論

京城新報

官紀振粛、官吏の淘汰に就ては、曾て余輩の屢々論じたる所、之を斷行するに非ざれば、到底政務を敏捷に進行する能はざるのみならず、其弊害の及ぼす所蓋し尠少ならざれば也、官紀の弛廢は中央地方を通じて實際目に餘る程にして最早爭ふ可らざるの事實たらんか、官吏の淘汰に至りては更に急を要するの感なくんばあらず、總ての事は其人物によりて運用の巧拙あり、適材を適所に置くに非ざれば擧績は擧らず、現在に於ける邦人官吏は果して適材を適所に得たるものとするか、余輩は遺憾ながら之を認むる能はず、是を以て余輩は統監更迭の當時に於て、腐儈を一新するに非ざれば、到底新統監の所信を斷行する能はざるべきを警告したりき、要するに官紀の振粛を機として、現在の官吏に大淘汰を行ひ與個に適材を擧るは統監政治の展進を計る所以也と、曾禰統監も輓近官紀の弛廢に就ては憂る所ありと聞く、珍しくも機關紙京城日報が官紀振粛論を呼號するに至れるは聊か珍とするに足る、亦一昨十四日報せらるゝ所に依れば『伊藤統監時代より日本人官吏中不正行爲あり官紀弛廢し識者の顰蹙する所也しが曾禰統監は近頃官紀の振粛を以て最急務なりとし過般來種々調査中の所之が第一着手として一昨日各官衙に於て判任官は依願免官、奏任官以上は始末書を徴したるもあり然し由なるが尚順次各地方に及び夫れより韓人側に至る筈也と』之れ素より至當の所置にして、余輩を以てすれば此斷行の甚だ遲かりしを憾む、然れども遲れたりとは云へ、其實現の端を見るに至りしは喜ぶべき事なりとす。

不正行爲ある官吏を罰して之を淘汰するは勿論爲すべき事なれども、單に之のみにては官吏の不正行爲を取締るに止まる、余輩の望む所は此機會に於て、不能者を黜けて有能者を重用するの快擧を斷行することゝ也、不正行爲者が統監政治を害ふは無論なれども、無能者跋扈して有爲者の進路を塞ぐも亦統監政治の障害也、眞に官紀を振粛せんと欲すれば、不正行爲あるものを黜陟すると共に、無能者を黜けて有爲の人物を擧げざる可らず、官紀振粛は官吏の大淘汰によりて始て勵行せらるべし、余輩は曾禰統監が快刀一揮以て此快擧に出でんことを切望するもの也。

山縣公は曾て故後藤伯が農商務大臣たりし當時、取引所問題等に於て官紀の紊亂せるを慨して、其衝に當て快刀の亂麻を斷つが如くに官紀の振粛を勵行して人心を新にしたりき、曾禰子爵は公の直參と云はるゝと共に其斷も亦公に讓らずとの世評あり、果して然らば此機に於て得意の斷を實行して、人心を新にし統監政治に一新生面を開展せらるべき也。

東京電報

▲我東宮の御陸進

來る天長節の佳節を以て我皇太子殿下には陸軍中將に御昇進あらせらるゝ由同時に東伏見宮依仁親王殿下は海軍少將に御昇進相成べしと承はる（十四日夜着電）

▲未曾有の大演習

來る大演習は陸軍創始以來の大規模に屬し戰線區域は南栃木縣那珂川の線を經て茨城縣に至り北は栃木縣河内郡雀宮村より福島縣白河山間に至り西は宇都宮東以福島縣[illegible]及び東西十餘里南北五里に亘る一大戰線を劃き大兵の操縱演習の好適地を撰み以て其活動目を驚かすものある可し（十五日發）

▲大演習監の決定

來る十一日擧行の陸軍大演習監部左の通決定す

南軍司令官 陸軍大將 西寛二郎
同參謀長 陸軍少將 落合豊三郎
北軍司令官 陸軍大將 長谷川好道
同參謀長 陸軍少將 重見熊雄

▲三角航路の削除

日韓新航路即ち敦賀、舞鶴、元山、城津、清津の航路開始費は去る十三日の閣議に於て否定削除されたり（同上）

▲豫算査定の閣議

四十三年度豫算概算は廿一日閣議に付すべし新事業に對しては不已得のものを除くの外一切削除する方針を以て査定し財源に多少の餘裕あるを以て閣議に於て必要と認めたるものに對し復活する筈なり而して各省の要求せる增額及新事業を悉く認むれば四千万圓に達するも結局千八百萬圓位を認可するを得可しと語り（同上）

▲元帥の貴賓優遇

キッチナー元帥來京の上は皇室の貴賓として優遇さる可く即ち芝離宮を充つ可く仰出されたり

▲伏見宮妃御發

伏見宮妃殿下十二日波南發コロンボに向ひ十六日迄同地御滯在の由（同上）

▲陸軍大學生演習

陸軍大學三學年生の旅行演習は昨十四日より十一月二日迄三週間の豫定にて埼玉、群馬、栃木、福島の四縣下に擧行せらる（同上）

▲西園寺侯の歸朝

展墓の爲め入洛中なる西園寺侯は十九日歸京す可（同上）

▲地租輕減調査

憲政本黨非改革派は十八日地租輕減調査會を開く筈

▲被捕船釋放さる

露領沿海州にて規定の漁場外に漁獲を爲したりとて露國官憲に拿捕されたる熊雄丸は其筋の調査に依り犯則に非ざるを認め交渉の結果釋放せられたり（同上）

▲外國武官の招宴

寺內陸相は特別大演習の陪觀に來朝すべき各國武官を十[illegible]

▲官鐵收入の減少

一月二日官邸に招待懇親會を開く筈

官鐵全線に於ける去月下旬の營業收入は二百二十四萬圓にして前年に比し二萬三千三百十四圓を減せり（同上）

▲漁業税の納付濟

沿海州に於ける我漁業者下半期の漁税は昨十四日露政廳へ納付せりと（同上）

▲地租輕減の將來

東海道筋を根據とせる各派代議士は今期議會に宅地附加税修正案及び耕地々價修正案を提出せんとし在京代議士と打合中なれば或は今期議會の一問題たらしむるを得べし然れども貴族院の形勢反對の傾向あれば通過は困難ならんと察せらる（同上）

▲耕地整理法施行

明十六日より施行の新耕地整理法は舊法により認可を申請したる一萬五千町歩は舊法により認可し其他新法施行後認可す可きものは一萬町歩にして栃木縣の一口四千町歩飛岡縣の六百町歩聯合の三千五百町歩等最も大區域なりと云ふ（同上）

▲京都の虎疫猖獗

京都嵐山附近にてコレラ發生したるが其勢ひ猖獗にして死亡既に五十餘名に達したり（同上）

▲英國艦隊の入港

ラムトン中將の率ゆる英國支那艦隊は昨日橫濱に入港

▲伊藤公爵の着發

下の關電報

伊藤公爵の一行は本日午後八時廿五分着春帆樓に一泊明日午後鐵嶺丸に搭乘大連に向ひ解纜す十八日大連着の筈隨員は高等官五名其他緣故者等にて當地よりは貴族院議員室田義文氏同伴すべし（十五日發）

▲鹿兒島線の直通

鹿兒島線人吉、吉松間近々落成に付き東京鹿兒島線の直通列車を運轉する筈にて新橋下の關間晝夜二回の直通列車に連絡相互間四十六時間乃至四十九時間にて到着すべし

▲鐵道借款の解決

北京電報

那桐及び徐世昌は粤漢、川漢鐵道借款の件に關し英、米、佛、日の四國代表者と會見の結果近日解決し上奏裁可を經勅令を以て發布さるゝことゝなりたり（十五日）

▲米國の對清態度

紐育電報

クレーン氏罷免問題に關し米國政府側にては日本の對清態度に付て如何なる程度迄歩を進むべきやに付ては何等決定する所なしと廣告せり（十四日東京經由）

▲財政案と英上院

倫敦電報

英國政府は萬一上院が財政案の通過を拒止する場合には選擧人多數の意嚮を問ふ爲め之を人民に審議すべきや否や目下研究中にて

國民の注意は一に政局に集注せられつゝあり（十四日東京經由）

▲英國陸海軍事會議

英國海軍は陸海軍々事會議の設立を發表せんとし又軍事計畫を建つる目的を以て新海軍勤員部組織せられたり（同上）

雜報

●來年度の土木事業

土木局所管事務隆熙四年度要求豫算額如左

治道費	（既定）	四四五、三九六圓
治道費	（新規）	八三、九六〇
道路橋梁修理費	（同）	三七、一三八
漢城內大川浚渫費	（同）	三六、四三〇
漢城市街改良費	（同）	二五〇、〇〇〇
漢城土木費	（既定）	三〇、六〇〇
五大江調査費	（新規）	二五三、九六〇
土木調査費	（既定）	三二、一八五
水道敷設調査費	（同）	五、七九〇
仁川水道工事費	（同）	三三六、八一五

右に付き第一既定治道費は光武十年より隆熙四年に至る繼續事業にして總額二百四十九万六千圓、四年度年割額二十九万四千圓なるも隆熙元年以降經常部に屬すべき事務費を治道費中より支出したる爲め最終年度即ち隆熙四年度に於て二十五萬一千三百六十九圓の不足を生ぜしを以て四年度要求は既定年度割より右二十五万一千三百六十九圓を增加し第二新規治道費は隆熙四年度より五ケ年繼續事業として新に要求するものにして總額四百十六萬四千八百圓なり之は既定治道線外に於ける重要なる都會、停車場、駐在所、港灣等を中心とし交通の利便を計る目的にて要求したるもの第三道路橋梁修理費は既成治道の修理費、第四漢城內大川浚渫費は每四年に浚渫すべきものを光武二年より十二ケ年間放擲しありしを以て計上したるもの第五漢城市街改良費及漢城土木費は案の如く第七五大江調査費は洛東、榮山、錦、漢、大同の五江浚渫調査費にして七ケ年繼續事業にて總額百三十五万八千五百三十圓の年割額なり第八土木調査費は地方費を以て各道に治道を起す可きも調査機關なきを以て土木局に於て之れを調査する爲めに計上し第九水道敷設調査費は大邱、群山、元山の三水道敷設調査費なり第十仁川水道工事費は前年來の繼續事業にして本年度年割額七十一萬九千四百〇八圓より少なきも這は來年度に於て發工事の幾分を竣成すべきを以てなり尚右の外平壤水道費歲入歲出豫算及仁川同上に於て歲出超過二萬八千三百九圓を加ふる時は土木局來年度の豫算要求總額は二百卅七萬九千五百六十八圓也

●違式法律と農相

法律第六十七號海上衝突豫防法違式事件は倍々其失態を增大し延いては現行制度の可否を疑はしむ可き近來の重大問題として目視せらるゝに鑑れり依て記者は本日趙農相に會見し親しく前後の成行きを聞かんと欲したるも其機を得ざりしが趙農相の直談なりとて某秘書官の語る處に依れば該法律案は曾て閣議に提出ありたるや否やを暗記せず唯だ署名脱落の旨官報へ正誤すべきに就き承認ある可しとて一昨十三日午後李總理より懇談ありたるを以て承諾を與へたるのみなりと然れば農商工部にては主務大臣すら是を干知せず況んや他の次官以下關係名局課の與り知らざる事明かなり若し斯かる惡例を將來に貽す時は法令の制定發布は何人も是を爲し得べく實に危險至極なるを以て統監府にては今更の如く狼狽を極め居れりと（電報通信所報）

●船舶法近々發布

海上衝突豫防法の善後策は紛擾を極め居るに度支部當局者は船舶法を制定し既に閣議を經て統監の承認を求め官報課に回付し近々發布せらる可しと然るに農商工部に付きて之を糺したるに何等合議に與らざるを以て事實の有無を知るに由なきも該法の制定は夙くに其議に上り居たるを以て或は事實ならんと冷容し居れり官制上明かに其所管を規定しある主務臨に於て之を知らずとは實に滑稽も甚だし又該法發布の上無關係の度支部大臣署名しあらば更に一問題を惹起すべし（電通）

●藤公は歸途寄韓

伊藤公は始め韓國には立寄らずとのことなりしが韓太子の公を御見送り旁々訪問されたる際滿洲よりの歸途韓京に立寄り三日間ばかり滯留すべしとの話なりしを以て其旨東宮大夫高義敬より韓宮室へ報知ありたりとのことなるが之に就き曾禰統監は統監府に於ては未だ何等の報なきも寄韓さるゝとせば多分歸途なるべしと語られたり（日韓電通）

●安城日本人會の新設

京畿道安城郡安城邑に於ける在留日本人は目下八十餘名に達し尚は續々增加しつゝあるを以て日本人會組織の議あり過般協議の結果會則を制定し役員の選擧を行ひたるに左の諸氏當選したるを以て不日理事官に向つて認可を申請する筈なり

會長梅村末松、副會長今村國藏、評議員柳田松太郎以下五名

尚は同會決議中他と異なる點は會員は會の共用財產を使用する權を有し會費を分擔する義務を負ふ又會員にして六月以上在住一家を構ふる者死去の際は五圓を與ふる等也

●官紀振粛と會計檢査

既報の如く官紀振粛の第一着手として漢城府內各官衙の肅清を行ひたるが內部に於ても大果斷を爲す筈にて平渡府郡課長は山本會計課主事を從へ大邱及水原の兩官衙に於ける會計檢査を行ふ爲め今十六日出發の筈

●新設區裁判所の開廳

本月廿日より左記各地に區裁判所を開廳す
驪州、江陵、江華、密陽、金海、河東

●各大臣の避病院視察

李總理大臣以下各部大臣は本日午前藤田軍醫監、岡次官の案內にて順化病院を視察す

●豫備金支出發表

一昨日の官報を以て左の通豫備金支出の件發表せらる

暴徒掃[illegible]費 二萬六千六百一圓
仁川火藥庫新築費 千百八十七圓

●鐵道豫算の細目

京元及三南兩鐵道の布設は愈々來年度より着手することに決定したるに付き之が豫算は去る十三日の內閣會議と十五日の會議に於て附議せられたる由なるが其の詳細なることは今之れを知ると能はずと雖も來年度に於ける豫算は大体左の如く確定したりと

一金二百万圓 京元及三南兩線の來年度工事費各百万圓宛
一金百五十萬圓 京義線及平南線同上工事費
合計三百五十萬圓

●兩線併設の決定說

京元、三南兩線とも愈明年度より起工することに方針決定し統監府には其事情既に明白し居れるも未だ公表するに至らざるのみにて現に或向には之を內示したりと傳ふ

●韓鐵布設と閣議

韓國鐵道布設の件は十四日の閣議に上りたる旨同日午後四時統監府に通報ありたる由なれば今明日中には詳細の事情判明すべし

●俱樂部改革發起人會

仁川俱樂部改革に關し一昨十四日發起人會を開きたる結果直ちに會員の募集に着手することに決し尚は改めて來る二十二日總會を開く筈なりと因に同會に加入せんとする者は至急岩崎民長迄申込まるべく若し右期間を經過する時は手續の煩はしきものあるのみならず入會金三圓を要すべしとなり

●陸軍の精米購買入札

韓國駐剳陸軍倉庫に於ては來る十一月一日午前十一時同倉庫に左の通り入札を以て購買する筈なるが保證金は見積價格百分の五

一、磨擦精米 六百石 釜山海岸納
一、磨擦精米 五百石 龍山陸軍倉庫納

●群山鐵道運動員來京

兩線併設運動委員として十四日群山より天野理事官坂上民長扇安太郎氏等上京直ちに商業會議所を訪問し諸般の打合せを爲せり

●仁川と鐵道運動開始

仁川商業會議所役員會は既報の如く一昨日午後八時より開會し種々審議の結果、京元、三南兩鐵道急設運動は京城及び龍山、木浦、群山の各地有志者と合同し大々的運動を開始する事に一決したりと

●東拓事件の延期

峯岸繁太郎氏對東洋拓殖會社の訴訟事件は昨十五日午前九時より法務院に於て開廷する筈にて被告東拓辯護士岡田榮、原告辯護士高橋章之助、皆川廣濟、岩田仙宗、木尾虎之助、岩本英夫の六氏及び本人峯岸氏等出席せしも右は都合に依り延期されたり

●水道栓開放延期

水道栓開放は來る廿五日を以て契約滿了の筈なるも衛生上注意すべきもののあるを以て一ケ月を延期す

●趙民熙氏の渡日

學部大臣の候補者を以て目され居る趙民熙氏は韓大[illegible]慶節に關する用務の爲め昨十五日

●市原氏の歸韓期

市原盛宏氏は來る二十九日頃新橋出發渡韓すべしといふ

●平壤議員の改選

平壤民團議員補缺選擧に對し松井民次郎、松井宇佐吉、森安義見、久保顯吉の諸氏當選したりと云ふ

●仁川會議所總會

仁川商業會議所は來る十七日午后七時より臨時總會を開き別項兩鐵道急設運動方法に關し熟議する筈なり

●防疫本部の閉鎖

虎疫愈々終熄したるを以て十五日を以て臨時防疫本部を閉鎖す

●警部試驗の終了

韓人警部試驗は昨十五日を以て終了不日任命の沙汰あるべしと

●荻谷書記長歸鄕

仁川商業會議所荻谷書記長は來る廿日鄕里水戶へ歸朝すべしと

●欄外に重要電報あり

近事片々

▲伊藤公今回の滿洲觀察は大分に人氣に投じたようだ元來公は華やかな芝居を好む
▲能く人心の機微を察して之に投ずるの手腕は海內獨歩の觀あり亦一個の大政治家
▲而も公は種々の政策を試むるも一點も黑き所なし此點に於ても海內獨歩の觀あり
▲其處になると桂大頭侯の如きは隨分人が惡い由來れ上手ものには心が許せぬもの
▲時々人心を新にして人氣を取る點は川上音次郎と能く似て居るとは或人の評言也
▲韓國內閣に邦人大臣任用說に就ては統監は他動的で桂內閣が中心なりとは事實か
▲而も陸軍側の督促急なりとは些と信じ難し何れにても實現さへすれば結構である
▲總理大臣を日本人とすれば何人が先づ適當であるか人によりて種々の好みあらむ
▲目賀田男と云ふ人も多くある此人ならば仕事はせんも統監との折合は如何哉と云ふ
▲未だ實現せざるに早くも適任者の評は面黑し現在の次官連を事ぞ大臣に陞したら
▲現在の次官を陞すのはよくない其高位に當てられたら堪らぬと反對する者有
▲併し何れにしても邦人を大臣にすれば夫で一の段落漸次更迭せしむるも亦た可也
▲希くば巷說として消へしむる勿れ漢城は兎角風說のみ多く時々擒がれては閉口よ
▲秋田某や高利貸某が官吏と結托して米穀買占をやるの說は東京では頻に喧騒す
▲關税輕減案は內面に醜聞伴ふと畑の上る所火のある論鋒よりすれば少々迂散臭ひ
▲京城に若し十萬以上の邦人在留するに至らば京城は立派な首都となるべきは事實
▲現在でさへも京城は邦人によりて首都の面目を發揮しつゝある觀ありとなさずや
▲大邱に於ける製莚事業は成蹟甚だよ と云ふ此事業は大に獎勵するの必要あらむ
▲若し夫れ此事業にして發達すれば韓國に於ける重要なる物產たるに至らんと云ふ
▲後藤男爵の馬車右側を驅け巡査に咎め○男爵大に大臣風を吹て威張る野性獨

▲兩線閣議の否決 京元湖南

東京電報

統監府當局[illegible]

▲韓銀株拂込終了 韓國銀行株金昨日迄に全部拂込みを終り二十九日總會[illegible]

[illegible]山方面に歸港、網百餘艘、締約五十餘艘[illegible]故鄕に歸る時は出た時と同じく[illegible]を申立つるに漁業者も[illegible]組合の[illegible]も同んにもならずして天下の大林技師の兩氏は其實際の調査をなさんが爲[illegible]

▲雨線閣議の否決

京元湖南の二線を▲財源なき爲め四十三年度豫算に計上するは見合はす事に閣議決定せり記者曰く本電報の眞否に就ては此の頃來は打電して確報を求め又は一方に於て此統監府に就て之を質したるに全然其無根を主張し之を否定したり若し本電の如くんば韓國現時の大問題に關するを以て記者は統監府當局の言明に徵し暫らく疑を

病院訪問記（一）

記者頃日小閑を得て柄にもなき京城の病院巡りを思ひ立つた、素より醫學には全然門外漢のことなれば專門的に深く學理に立入つた事は知らぬ、否や實は聽たくないのだ唯夫れ市內專門の病院を訪問して素人向きに報道して責を逃るゝ耳（藤子）

梅毒專門 資生病院

先づ以て一番に白羽を立てゝ訪問の光榮を得たのが南大門通りの梅毒專門資生病院だ折惡しく院長は微恙ありて橫臥中で院長代理某と診察所で對座二十分間、時に十月十四日午前十一時三十分也。

こゝは神戶福原遊廓驅黴院の分院だそうな院長蘆田耕平氏は醫學得業士で同地で六年間梅毒專門の診察に從事せられ醫長を務めて居た人だ、同院にては毎日通院患者が五十人位で內新患者の診察は一日平均七八人位だそうだ、一體學理上梅毒發生期は十月頃から翌年二三月迄が最も患者が多い、同院は西部警察署の牛嶋托醫となつて龍山靑坡、太平町、長谷川町、西小門通りの飲食店料理屋の酌婦約百五十人を毎月二回檢梅して居るが割合に有毒者は少なく平均一回の檢梅に五六人位しかない、是等の多數の酌婦を檢梅するには其筋から何等具體的の契約もなければ亦補助金もない、けれども目下の處同院では殆んど所謂仁術的に一面廣告的にやつて居る而して酌婦の抱主から一回の診察に一人に付金二十錢の手數料を取つてゐる、韓人の患者は一日通常五六人しかない、韓國婦人は單獨に診察を乞ふ者は殆んど無いと云つてい〻位だ大抵其夫か或は家族の者から生殖器に異情があるから施藥をして貰いたいと云ふて來る、其時は一應患者を診察しなければ絕對に投藥し難いと言ひ聞かすれば直ぐ男子の保護者同伴で厭や〳〵ながら受診することになるが診察所には當局醫師と補助看護婦の外出入せしめず患者の名譽と信用を尙び相當の設備ある室であるのに韓婦人の室に這入る時は恰も屠所の羊のそれの如く而かも甚く恥辱の念に驅られてゐる觀がある、そして韓人中には病氣全治してから住所などを僞稱して藥價を支拂はぬ者が尠くないのには困ると云ふてこぼしてゐた、近頃當院の發展策として韓人で少し醫學の心得ある日本語に通ずる者を一人傭つて居るが韓人患者中の廣告になつて患者吸集上なか〳〵成蹟がよろしい同院では患者の希望なき限り如何にも重患者と雖ども强いて入院せしめず自宅から通院せしむる方法を採つてゐる、目下仁川永登浦からの二三人の入院者があるとのことだ藥品及び器材に有名なる神戶十八番の英國藥種商會から取寄せてゐるが大抵のものが新非藥舖で間に合ふのです、因に蘆田院長は韓國に於ける梅毒病に關し頗る浩瀚なる論文を起稿し已に三十頁を脫稿したれば何れ完結の上は當地某新聞紙上にて之を發表し汎く醫界の意見を叩くやに聽けり。

●靜子女郎の駆落

▲相手は鐵道廳の銀筋殿

仁川花柳界は暮れ行く秋の哀れさと諸共に寂れ行きて昨今の淋しさはていんで話にならぬものにあらぬが隨つて二進も三進もつき兼ぬる遣繰に自棄糞を起してドロンを極め込むものさへ現はるゝに至りたるこそ憂たてけれ敷島遊廓日進樓の抱娼妓靜子事倉田よし(二十)と云ふは本年三月頃渡韓して京城蓬萊町二丁目居住の實父に當る倉田滿藏方に滯在せる內同地大和町居住の鐵道管理局銀筋の大久保米次郎と不圖せし事より緣は異なもの妙なものとやら遂ひ深間となりて末は妻よ夫よと紋切型の起證文さへ取交したるが人事意の如くならざるは世の譬へ雜て幾程もなくよしは浮川竹に流れを汲む境遇となりにけるも其後兩人は屢々逢曳を重ねて人知れず末を樂しみ居たる程に昨今の不景氣殊に互ひに無理算段せし揚句の果ては不義理の借金に首も廻らぬ仕儀となりしより一層の事好いた同士が互ひに手に手を取りて馳落するこそ上分別と右情夫の大久保は去る十四日の夜京城黃金町和田菊造と僞名して同樓に登樓し翌朝未明兩人の姿は何れ共なく消へ失せて行衛更らに別らぬようになりしに彼樓內の騷ぎは何に譬へつべくもあらず直に其筋に搜査願を差出すやら人を四方に走らするやら根掘り葉掘りして搜索し居れど今に行先判明せずとかや

●物騷千萬の仁川市中

▲一寸と吃驚するに及ばず

時節柄物騷なる强盜騷ぎこそあり今其の顚末を報せんに去る八日仁川寺町二丁目の飲食店三日月亭抱酌婦廣本とよの(二〇)と云ふは仁川署に出頭して告訴すらく事は少しく古けれど本年四月頃自分が宮町二丁目のカル、ス湯へ入浴の爲め赴かんとする途中乘て二三回面識ある仁川港繫留揚武號乘組船員長崎生れの橋本岩藏(二三)と云ふに邂逅せし處矢庭に自分を手込みにして脅迫の上暴行を加へ金指環(代價十二圓四十錢)を奪取して其儘何れともなく立去りたる儘今日に至る迄何等音沙汰なければ相當の處分を願はしけれとの事に警官は直に揚武號に出張して本人をば强盜犯人として警察署に引致し數日前檢事局に送致したりと

●警備艇隊の椿事詳報

▲船体にも多大の損傷あり

麗水根據地に於ける第九號警備汽船の遭難の件は既報せし所なるが其後水田警視より其の筋に達したる報告によれば吉原大尉以下十五名は同灣口頭にて艀より同艇に乘移りたる刹那顚覆したるものなるが原因は風波の爲め左舷に傾きたる際乘組員等右側に片寄りたる爲め機會を打つて覆沒したるものにて當時僚艇二隻及居合はせる韓船は機敏に救助に努力したるも遂に三名の溺死者を出したるものなりと猶船体にも機關部に多大の損傷を受けたりと云ふ

▲韓銀株拂込終了

韓國銀行株金昨[illegible]日迄に全部拂込みを終はり二十九日總會を開くに決せり

●韓海出漁者と醜業婦

近頃香川、岡山、福岡、兵庫の各縣より[illegible]の漁場は殷賑を極め居れるが其れと共に臭き所に蠅の群る如くに幾百の醜業婦輩襲來し漁業者が汗を流し得たる收益を殘らず吸て花柳病と云ふ飛んだ厄介物を撒ひ込むので漁業者の親や妻君等は「朝鮮などへ往つて下さつては困ります」と韓海出漁に故障組合の奬勵も何んにもならずして天下の大政策も畜生のやうな醜業婦に打つ毀されは興國存亡に關する一大事なれば其筋に於林技師の兩氏は其實際の調査をなさんが爲め來る十八日頃より管內[illegible]山郡方魚津、用下浦細竹浦附近に出張すべしと云ふ

●盜れた道具戻る

原籍山口縣平民當時龍山老松町七十二番戶居留石工職村中猪之助(三五)は客年十二月渡韓し京城明治町三丁目飲食店氏名不詳の韓人へ石工道具を預け置きたるに同韓人方に氏名不詳の韓人來り右の石工道具を受取りて歸りたりとのことに猪之助は自分を知れる韓人のために僞取せられたるものと思ひ爾來市內の古道具屋を搜索中の處一昨十四日明治町雜貨商韓人德成方の店頭にて發見したれば德に其出所を詰りたるに住所姓名不詳の日本人より煙草及び菓子代十七錢五厘の代に受取りたる旨述たるに依り德同道南部署に出頭して前記の金額を德に支拂ひて道具は猪之助に渡さしめたり

▲京城で賣る松茸の相場▼

秋の料理に是非缺く可らざるものは松茸である今二三の問屋に就て聽いたところを記せば京城市民の食膳に上る松茸は七分通りは內地產で主に大阪、廣島、馬關地方から輸送してゐる韓國では先づ開城產が一番で其他二三の田舍から輸送して來るが其產額は微々たるもので近くは南山にも多少產出するとのことだ目下の相場は內地產は百目一斤に付三十五錢韓國のは同じく百目一斤五十錢位だ概して日韓人を通じて日本產の方が香や風味が韓國產に比して優つて居るから一般の嗜好する所であるそれにも拘はらず韓國產の値段の高いのは稍白色を帶びて殊に開城地方面の松茸は昨日採つたのを今日市場で買ふ事が出來て比較的新しいと云ふ點にもよるのであろう內地產でも馬關からは當地に三日目には着するそうな韓國の松茸は內地よりも凡ろ二三週間早く市場に出る而して稍盛りを過ぎた時分に內地から盛に輸送して來るのですとのことである

●清韓人の摑合ひ

京城南部第六區汚穢人夫清國人王裕と南部小公洞五十八統五戶李聖敎方居留呉景五の兩人は一昨十四日午後七時四十分頃南大門通り二丁目裏通りに於て喧嘩を爲し居る旨訴へに接し直ちに南部署より警官現場に出張して取調べたるに前記清國人が糞便を擔ぎ通行せしを右呉が兩手を擴げて防害なし茲に兩人爭論をなしつ初め王は擔棒を以て處嫌はず呉を强たか毆打し呉が携帶の夜燈を破損したれば之が辨償を求めしも王の應せざるを大に怒り益々爭鬪を極めたると判明したれば兩人共本署に連行て野口部長厚く將來を戒めて釋放したり

●韓人の煙草泥棒

一昨日の午後三時頃仁川宮町二丁目鈴木なか方の店頭に陳列しある阜月煙草(代金四十錢)を竊取して逃走せんとするものあるより家人は引捕へて其の筋に突き出したるが右現行犯人は本町二丁目井上豆腐屋の雇韓人趙祐昌(十八)と云ふものにして一時の出來心より此の始末に及び悔悟の念面に現はれ居たれば現品を返還し說諭の上放還したりとぞ

●明洞のボヤ騒ぎ

一昨十四日午后四時四十分頃京城明洞四十三統六戶沈宜碩方溫突の烟突より發火し附近の者直ちに驅付け大事に至らずして消止めたるが原因は溫突內に多量の紙片を入れて點火し且つ煙突の掃除不充分の爲め發火し軒椽に燃ね移らんとしたるが沈は臨檢の係官より烟突の掃除を嚴重に申渡されたり

●持主不明の放駒

去る十四日午前六時四十分頃本町四丁目十八番戶通りを黑色の放れ馬一頭驅け廻り危險なるに依り直ちに取押へ南部署に繫ぎ居れるが心當りの者は至急申出づ可しと

銘酒 一鶴

●桔梗拍子の鞍替

新町遊廓南山樓抱藝妓桔梗事三橋ひで(二二)は一昨十四日龍山桃山遊廓紀國屋に鞍替す一寸粹樣へ誤注進

●一昨夜の新町

遊廓の色餓鬼は八十九人にて消費高は四百八十五圓九十八錢とは氣の毒なり

●穏城の初雪

咸鏡北道穏城に十五日朝降雪あり

吉凶 本町五丁目 三一館判斷

●十月●十六日●舊九月三日●六白大安●己酉と△一白● 業務又は官職上快心の事あり子孫の計をなし雇入れ等大に幸ひあり△二黑● 平靜の日なり常事常務は差障りなし旅行舟下し入學等凶遺失防ぐべし△三碧● 不快不得要領の日新事見合の事金品授受計算精算帳簿印章の事に留意すべし△四綠● 陰鬱にして不快の事多し細心の謹愼を要す盜害遺失橫領防ぐべし尙不時の負傷防ぐべし△五黃● 疎漏過誤を生するあり酒色賭事を堅く戒しむ△六白● 人より咨嗟を受くるあり畏るべし尙受任受托等の法律關係に入る勿れ△七赤● 中傷誣妄防ぐべし强き競爭にあふあり爭論紛爭を戒しむ△八白● 胸中の鬱念猛發し失錯あり取引賣買上齟齬間違あり△九紫● 近親朋友の身上につき世話又は配慮の事あり總じて不穩の日とす

右は概括的判斷なり各人格別に付ては直接同館の鑑定を請はる可し

◀平民文庫▶

▲或る方より西洋草花の種子を貰つたので朝顏を拔き棄てた跡へ播いたのが二十日程前のことで此の五六日以後ポッ〳〵發芽で來たから一層の注意を拂ひつゝある一昨夕例の如く水を與らうと立寄るに無慘や悉く踏み躙られてある殘念とも無念とも云ひ樣がない況んや此の加害者は朝に夕に僕が日課の如くして食餌を惠みつゝある雀君たるを知るに及んでは遺憾更に甚しである、古昔は婆さん糊を舐めたるに報ゆるに舌切の刑を科したさうある、芽を踏んだ明治の彼れには如何なる刑を科するが適當であらふ(紅)▲京城には怪美人の多いことですなア長谷川町にも初音町にも永樂町にもハテサテ(可怪生)▲實際あるのだから致方があるまい(小僧)▲排水溝の淺深はモウ執行せんのですか實に困つた事だ(溫突住人)▲子供が多いので困つてる人があるかと思へば又子供が無いので淋しさに堪ね兼ねて居る人もある思ふ樣には成らないものです(人間の子)▲鈴木君續稿を送られよ(係)▲鈴木司稅局長の馬丁君は主人を送り込んで歸り途は意氣揚々、秋風に鞭を鳴らして肥馬を行る、乘られた馬こそ災難だ(通行人)▲電話交換手の口の利方が頗る粗末だが何んとか少し取り締つて戴きたい、尤も中には隨分優しい挨拶振りの至極丁寧な人もある、一列には言へぬが比例すれば粗末な人が多いのは事實であらう(への字)▲東京の新聞は後藤遞相が巡査の胸倉を摑んで毆り付けたとある、ドウもれまけがあるらしい正直とすれば修養が足らないのだ即ち學ばざるの罪だ車夫輩の喧嘩するのを當然と憫笑し去る雅量を有する吾人は人間の大臣が人間の車夫に似た事をしたとて不思議がる必要はない、犬だつて人間に喰ひ付くことがある大臣だつて巡査を毆ることもあらうサ威張れる時に威張つて置くのは策の得たるものである後藤男は實際偉いなあ(もへじ)

●天氣豫報（自十五日午後六時至十六日午後六時）

北東の風晴れ後曇

十四日（華氏） 最高溫度 六〇、八 最低溫度 四〇、一

廣告

一 精米 六百石 釜山海岸納
一 擦精米 五百石 龍山陸軍倉庫納
但入札保證金ハ見積價格ノ百分ノ五以上
右購買ス入札者ハ當庫ニ就キ入札心得書契約書案標本等熟覽ノ上十一月一日午前十一時入札スヘシ即時開札ス
本契約ハ當倉庫長士屋善總擔任ス
明治四十二年十月十六日
韓國駐劄陸軍倉庫

診療開始廣告
生儀其後專門學研究の爲め獨逸遊學中の處先般歸朝致し來る十月十一日より若草町二丁目元英國人ハリファクス氏邸跡(入口三つあり一は若草町一は赤門一進會本部前一は竹園町より)に於て日曜及大祭日を除き毎日
午前八時より正午迄
一般外科患者及花柳病患者の診療に從事す
ドクトル メヂチーネ 和田八千穗（電話千五十八番）

開業御披露
弊樓儀今般松葉樓跡にて開業致候に付ては客室の裝飾は勿論萬事改善を加へ最も懇切に御扱ひ可申候條何卒賑々敷御來遊被下度伏て奉願上候 敬白
京城新町 清進樓 電話一二三番

診察時間 自午前至午後七時
毎月一日十五日休業
本町二丁目 中村耳鼻咽喉眼科醫院
院主 從七位醫學得業士 中村健吉

角商會代理店
前川自轉車店
京城南大門橫

營業科目
萬足袋裝束類
並に原料品各種
本場青縞諸國織紺
地下足袋一式
外縫○土方○合力○ワラジ掛
馬丁○皮付○靴形○其他數種
陸海軍 諸官省 人夫用被服請負
右品質を精選し特別廉價に調製可仕候間不相變御用命之程偏に奉希上候

ツギ目ナシ 丈夫足袋
今般圖面の如き至極堅牢なる刺甲足袋を製造販賣仕候本品の特色は從來の刺甲足袋は木綿と刺甲との繼ぎ目有り爲めに自然其繼ぎ目より破れ易く且つ座して足を痛める事も有之に付種々苦心の結果繼ぎ目なき完全なる製布を案出し裁縫入念勿論至極堅牢地下足袋に用ゆる貳信州を使用仕居候御承知の如く本品は体裁よりも丈夫なる事一の目的とせる品に就き弊店は此點に充分注意を加へ製造致居候依て其名稱の如く丈夫なる事實見の上何卒多少に拘はらず御用命の程偏に奉懇願候
●見本御入用の節は郵稅共金二拾七錢御送附被下候はゞ直に送呈可仕候
製造卸商 大坂市本町橋東詰 澤田儀平商店
電話東三二一八番 振替口座大坂三八五一番

冬物荷揃
◉嶄新ナル輸入品ノ類例
毛布類 羽根布團 膝掛類 帽子類 シヤツ 諸雜貨 洋酒 菓子 シガー シガレツト
◉歐米最新流行品ノ生粹
京城本町三丁目 龜屋 電話二十七番 四七五番

京城相生町（南門湯橫）
神戶資生分院
京城梅毒病院
◎花柳病專門附、痔一般（注射療法）
●入院隨意●
院長 醫學得業士 蘆田耕平

無害ノ煙草ヲ [illegible] 金口莨
は純埃及產にて好聲を含み齒質を堅牢に致シマス故に衛生を重んぜらるゝ好蒿彦には特に御愛顧を蒙る次[illegible]
不拘多少御用命御待[illegible]
洋金口貴 葉卷 パイプ
直輸入商 卸賣小賣
日希商會
主任メニヤス 電話三二二番

各種 洗濯石鹸
專門製造販賣
用途
陸軍、鐵道、船舶、鑛山、水道湯屋、散髮、諸工業用
京城旭町二丁目
(電話九七三番)
朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●募集 敏腕なる外交員至急入用希望者は直接京城本六丁目京城新報社へ來談あれ

●求職 年四十五確實なる身元保證人あり如何なる事務をも厭はず 姓名在社(四五五)

●少年入用 十七八才少年入用 大和町一丁目 爲春堂醫院

●被雇度 病院の醫局員として被雇たし 病院に經驗あり 氏名在社(四四八)

●職業あり 十圓の資本にて一日一圓以上の職業有希望の方は御來談あれ 黄金町三番戸 國松商會

小僧入用 大和町一丁目 藤井出張店

●被雇度 年廿一内地に於て小學校訓導奉職せし者會社商店を不問至急被雇たし 氏名在社(四五九)

ケー生君に告ぐ 匿名にては取扱不申候 係

●卅七年出の醫學得業士内科小兒科及小外科に經驗あり病院醫院或は公共の醫院へ雇はれたし 氏名在社(四六〇)

物件部

●電話讓渡したし 氏名在社(四四五)

●貸家 南山町二丁目二階建二間溫突外八疊外三間井戸附右今月下旬より貸したし 家賃價格 氏名在社(五六四)

●通用銑十號又は十二號至急讓受けたし 龍山老松町 上田病院

●電話 未設(不日かゝる分)讓渡したし 氏名在社(四六二)

●貸家 官吏向二、三、六、八疊溫突平家一棟湯殿物置附屬門構有家賃三十圓 氏名在社(四六一)

●醫院讓渡 京城市内にて有望の地御希望の方は至急申込あれ 氏名在社(四六三)

廣告

滋養品の服用期は今日なり

暑中の牛乳は特更に腐敗し安くして危險なり

次亞燐を持藥として服用せば夏瘦せ夏負けの憂ひなく衰弱を防ぎ元氣旺盛なり

次亞燐 滋養大關

効牛乳の數倍

消閑之淸遊
每日午後開會諸君子陸續御臨を賜へ
京城明治町一丁目
京城碁會
(大和湯前○万隣)
市中之仙境

廣告
柳澤鹿之助著 新式 家計簿記 教科書 全一冊 代五十五錢 送料四錢
柳澤鹿之助編 會計規則ニ據ル諸帳簿 様式 代六十錢 送料四錢
附 誤記訂正例 簿記規程(一般會計より特別會計金庫帳簿に至)
京城日の出町七五
京城簿記學校

原料直輸入廉價調製各種木形新着

弊店の特色御注文品と否とに不拘材料は精選しスタイルは嶄新の粹を集め常に諸彥の御滿足を得實地御試用被下度候

●京龍間は御一報次第店員を派し地方は御一報次第見本帳御送附可仕候

特價
深ゴム靴 六圓五十錢
アミ上靴 五圓五十錢
淺ゴム靴

東京 北村支店
京城本町一丁目(郵便局前) 店主 磯部廣吉 謹告

HIGH CLASS TURKISH CIGARETTES
HAND MADE
D.S.P.&C°
D.S. Paneris & C°
SAMOS
Turkey in Asia.
REGISTERED TRADE MARK

新荷着廣告

上等トルコ煙草 各種
キルク 金口 百本入、五十本入、廿本入、十本入

上等ロシア煙草 各種
百本入 廿本入

上等葉卷煙草 各種
マニラ ハバナ 百本入、五十本入、廿五本入

右今般多數着荷仕候に付特別安價を以て販賣仕候間多少に不拘御購求被下度尚地方よりの御注文は引換郵便にて迅速に御送附可申上候間續々御注文被下度偏に奉希上候

京城本町四丁目角
デーエスパネリス商會
仁川本町四丁目 (取次電九五六番 帶翠パネリス)
頴原兄弟商會

菊花壇

例年の通り弊樓自慢の黄菊白菊數百株今を盛りと咲き亂れ本日より汎く縱覽に供し候條殿方は申迄もなく紊閣は特に御婦人樣方御連立ち御來觀被下度候尤も本年は歐米の新種輸入致候て韓國無比之菊花壇確かに御一覽の價値有之者と相信じ申候

御參考
御注文に依り御一人前二十錢の茶菓差出候
御會席は御一人前壹圓五十錢にて山海の珍味を供し候

新町遊廓
皆春樓

暖爐各種

廣告

煙突取付並ニ煙突掃除大勉强

京城本町五丁目角一番戸
電四七一番
馬木勇吉

龍山山下町兵器廠官舍通入口
電三六四番
馬木支店

★株式會社 百三十銀行 韓國總支店
京城本町二丁目十五番戸
電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿內 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市

東海道 東京、橫濱、大礒、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪、

東山道 彥根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、靑森、秋田、能代、土崎、高崎、

北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、高岡、伏木、新潟、

山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田、

山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干、牛窓、味野、岩見、岡山

南海道 串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、洲本、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱、

西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、

北海道 函館、小樽、札幌、

台灣 臺北、臺南、

淸韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、群山、大邱、安東縣、晋州、尙州、馬山、

銀行一般の業務精々便利取扱可申候

梅毒 りん病 リウマチス 新藥
毒滅
各驅黴院實驗證明
本舗 大阪 森下博藥房

完全ナル懷中藥
THE JINTAN
仁丹
醫學博士三輪井上兩先生御方劑
各地藥店にあり

代理店
京城南大門通三丁目 新井藥房本店 電話一〇六八番九〇四番
京城本町三丁目(電話四七八番) 新井藥房第一分店
京城南大門外 新井藥房第二分店

代理店

懷中要藥

清心丹は旅行携帶藥として缺く可からざる良藥にして滊車滊船の[illegible]ひを快よくすること妙
清心丹は高尙なる香氣を含み口熱惡臭を排し咽喉を潤し音聲を清朗ならしむる特效有を以て教師家其他交際場裡の必携劑なり
清心丹は遠足之際口に含みて走るときは息切することなし
清心丹は風土變り水あたり等の恐れあるときは時々二三粒づゝ用ゆれば其患ひなからしむ
清心丹は過酒過食之停滯を解し消化を良好ならしむること妙
清心丹は暑さ寒さあたりにて下痢腹には三十粒乃至四十粒を嚼み碎き三四回用ゆれば必ず奇効あり
清心丹は傳染病流行地に於ては常に二三粒嚼み碎用ひて大に豫防す
清心丹は人魚の商標と高木與兵衛の名稱へ御注意之上御求めを乞ふ
清心丹は定價金一圓(箱入)五十錢(箱入)卅錢十五錢(罐入)十二錢(瓶入)廿錢十錢五錢(紙包)の八種あり
清心丹は製造本舖は東京市日本橋區元大坂町八番地にして取次は全國到る所の有名藥店にて販賣す

京城南大門通三丁目 電話(九百四番 千六十八番) 新井藥房本店
京城本町三丁目 (電話四七八番) 新井藥房第一分店
京城南大門外 新井藥房第二分店

日韓印刷株式會社

營業科目
活版、石版、銅版
各種印刷
帳簿裝釘、書籍
製本及ビ印刷
諸材料販賣

遍ク諸材料ノ精撰ヲ計リ期日ノ正確ヲ旨トシ最モ敏活ニ最モ低廉ニ御高需ニ應ジ候間多少ニ不係御注文ノ程希上候

本社 京城明治町三丁目 電話三二三番
出張所 東京麴町區麴町八丁目十九番地 電話番町二九〇番

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウオルサム時計 米國アンソニヤ時計 韓國特約販賣店
獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店

時計卸商 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店 電話七五〇番
時計卸小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話千十五番

特約販賣自製

漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目

和洋酒、の精酢、穀物麵類銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尙御望に依り商品切手調進仕候 (電話二五一番)

大上商店

明治廿年七月創立 京城代辨店 本町四山口吳服店 電話九番
東京火災運送海上保險株式會社
資本金一千萬圓 事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

折箱製造元
京城明治町一丁目五十番戸 (漢城病院下横へ入ル)
箱信事
鳥山商店

京城旭町一丁目 三二六番戸
安東病院
電話七十三番
內外科 產科 小兒科 花柳病
入院隨意

牛乳
荒井牧場
電話一〇五六

日本郵船株式會社 瀛船仁川出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 電話三九番 郡回漕店

●釜山長崎門司神戸行 山東丸 十月二十四日正午三時出帆

●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 十一月十八日正午時出帆

●大連、大沽、牛莊行 山東丸 十一月九日午前四時出帆

●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 十一月四日正午時出帆

●釜山出帆、元山、淸津、浦鹽行 立神丸 十月二十七日午後出帆

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料
●廣告料
發行兼編輯人 商木久馬太
印刷人 楳久神一郎
發行所 京城新報社